

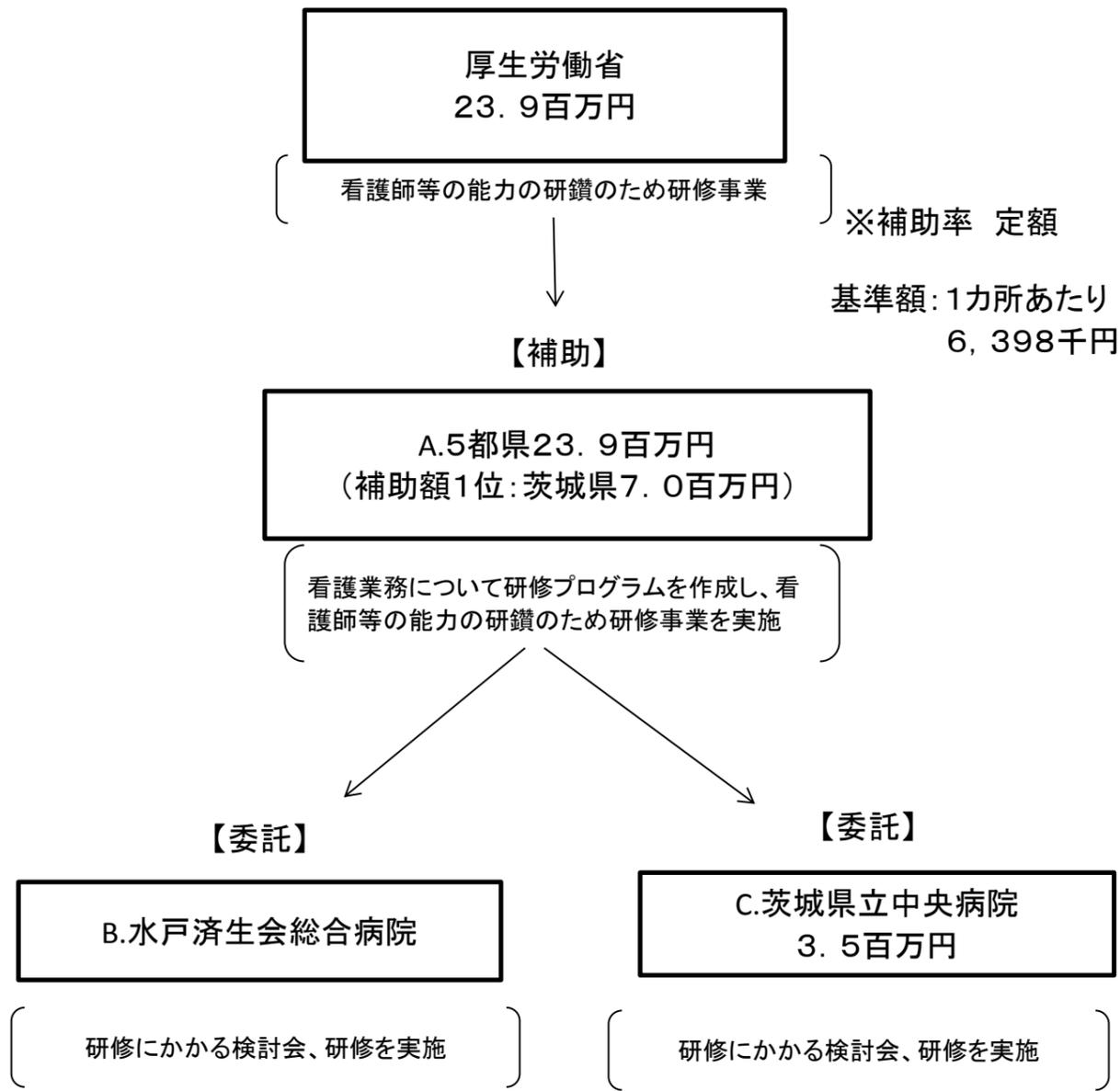
平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	協働推進研修事業		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～		担当課室	看護課		課長：岩澤和子		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成22年3月24日医政発0324第21号「看護職員確保対策事業等の実施について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成19年12月28日医政局長通知「医師及び医療関係職と事務職員との間等での役割分担の推進について」で示された、専門職がその専門性を発揮するために強化すべき看護業務について、看護師等の研修の場を確保し、チーム医療を推進するための医師と看護師等の協働と連携を推進し、医療提供体制の充実を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県において、薬剤の投与量調節、療養生活指導、インフォームドコンセント、トリアージ等の役割分担が求められる看護業務について研修プログラムを作成し、看護師等の能力の研鑽のため研修事業を実施する。 補助先：都道府県 基準額：5,434千円 補助率：定額							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算		350	102	27		
		繰越し等						
		計		350	102	27		
	執行額			7	24			
	執行率(%)			2.0%	23.5%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	都道府県から事業採択にかかる情報収集に努め、原因分析を行うとともに、チーム医療の下、役割分担を積極的に推進できるようにしていく。		成果実績		—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	受講者数		活動実績 (当初見込み)	人	—	545	656	— ( )
単位当たりコスト	36,496(円/1人 )		算出根拠	1人当たりの研修費用				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	検討会費	3	0	「医療提供体制推進事業」に統合				
	実務研修経費	24	0					
計	27	0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	今後も執行状況等を踏まえて、事業の見直しや予算要求を行っていきたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的 改善	本事業については、平成23年度においても予算の縮減が図られており、事業の必要性も認められるところではあるが、更なる予算の効率化を図るため、執行の弾力化等の見直しを行う必要がある。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補助先である都道府県の裁量で事業の重点化を図り、予算の弾力的な執行が可能な仕組みを推進することにより、更なる予算の効率化を行う。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
平成22年11月16日(火)に実施された事業仕分け第3弾において、医師確保、救急・周産期対策の補助金等(一部モデル事業)は予算要求の縮減(半額)とされた。			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.茨城県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	研修プログラムを作成し、能力の研鑽のため研修事業を実施	7.0			
計		7	計		0
B.水戸済生会総合病院			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	研修にかかる検討会、研修経費	3.5			
計		4	計		0
C.茨城県立中央病院			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	研修にかかる検討会、研修経費	3.5			
計		4	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	茨城県	研修プログラムを作成し、能力の研鑽のため研修事業を実施	7.0		
2	兵庫県	研修プログラムを作成し、能力の研鑽のため研修事業を実施	7.0		
3	東京都	研修プログラムを作成し、能力の研鑽のため研修事業を実施	4.5		
4	福井県	研修プログラムを作成し、能力の研鑽のため研修事業を実施	4.1		
5	北海道	研修プログラムを作成し、能力の研鑽のため研修事業を実施	1.3		
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	水戸済生会総合病院	研修にかかる検討会、研修経費	3.5		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	茨城県立中央病院	研修にかかる検討会、研修経費	3.5		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					